

二五九四番

行かぬ我を 来むとか夜も 門ささず あはれ  
我妹が 待ちつつあるらむ

二五九五番

夢にだに なにかも見えぬ 見ゆれども 我かも  
迷ふ 恋の繁きに

二五九六番

慰もる 心はなしに かくのみし 恋ひや渡ら  
む 月に日に異に

二五九七番

いかにして 忘るるものそ 我妹子に 恋は増さ  
れど 忘らえなくに